

千葉大学医学部附属病院 ICU で体外式膜型人工肺を用いた治療をされた患者の皆様、ご家族の皆様へ

2026年 5月25日

救急科・集中治療部

救急科・集中治療部では、「重症呼吸不全に対する ECMO 離脱予測因子の解明およびプロトコル導入による評価方法の確立」に関する研究を行っており、以下に示す方の診療情報を、本文書の公開日以降に利用させていただきます。研究内容の詳細を知りたい方、研究に情報を利用して欲しくない方は、末尾の相談窓口にご連絡ください。

本文書の対象となる方

2016年1月1日～2025年12月31日の間に当 ICU にて呼吸不全と診断され経皮的膜型人工肺（ECMO）を用いた治療を受けた方

1. 研究課題名

「重症呼吸不全患者における安全な ECMO 離脱の予測因子の解明および離脱プロトコルの有効性検証」

2. 研究期間

2026年承認日～2031年3月31日

この研究は、附属病院観察研究倫理審査委員会倫理審査委員会の承認を受け、病院長の許可を受けて実施するものです。

3. 研究の目的・方法

重症呼吸不全に対して10年間に当 ICU で ECMO 治療を実施した症例について、ECMO 治療を終了した後に治療を強化する必要がなく順調に経過したか否かについて比較検討を行うことで、ECMO 終了の最適なタイミングを事前に予測する因子を明らかにします。また、当施設で以前作成した ECMO 離脱プロトコルの効果も判定し、より精度の高い ECMO 離脱に関するプロトコルを作成します。

4. 研究に用いる情報の種類

診療録に記載されている年齢、性別、BMI、重症度スコア、疾患名、人工呼吸期間、人工呼吸器設定、一酸化窒素吸入療法の有無、ECMO 治療中の各設定や実施期間、ECMO 離脱

テストの実施状況、ECMO 再導入の有無、鎮静の為の薬剤や血圧を上昇させる薬剤の投与量、意識状態、生存退院の有無など

5. 研究組織（情報を利用する者の範囲）

【研究機関名及び本学の研究責任者名】

研究機関：千葉大学医学部附属病院

研究責任者：救急科・集中治療部 教授 中田 孝明

6. 個人情報の取り扱いについて

本研究で得られた情報は、氏名等の個人を特定するような情報を削除し、どなたのものかわからないように加工して、千葉大学医学部附属病院救急科・集中治療部において厳重に管理します。研究結果を学術雑誌や学会で発表することがありますが、個人が特定されない形で行われます。

本研究についてご希望があれば、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で、研究計画書及び研究の方法に関する資料を入手又は閲覧する事ができますので、相談窓口までお申し出ください。個人情報の開示に係る手続きの詳細については、千葉大学のホームページをご参照ください。

(URL : <http://www.chiba-u.ac.jp/general/disclosure/security/privacy.html>)

7. 研究に関する相談窓口について

研究に情報を利用して欲しくない場合には、研究対象とせず、原則として研究結果の発表前であれば情報の削除などの対応をしますので、下記の窓口までお申し出ください。情報の利用をご了承いただけない場合でも不利益が生じる事はありません。

その他本研究に関するご質問、ご相談等は、下記にご遠慮なくお申し出ください。

相談窓口

〒260-8677

千葉県千葉市中央区亥鼻1-8-1

千葉大学医学部附属病院（病院長：大鳥 精司）

救急科・集中治療部 助教 菅 なつみ

043（222）7171 内線6365